

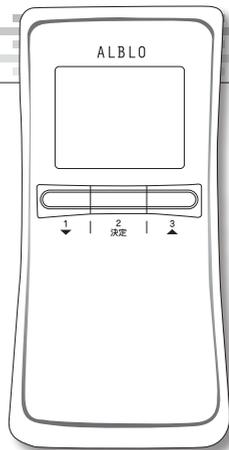
取扱説明書

保証書付

タニタアルコール検知器

Professional

FC-1000



※本書に記載されているイラストはイメージ図です。

本器について

●ご使用の流れ	2
●使用目的に関する注意	3
●定期点検の流れ	4
●安全上のご注意	6
●使用上のご注意	8
●各部の名称/付属品	10

準備する

●電池を入れる／交換する	12
●ACアダプターを使用する	13
●設定する	14
●設定の変更をする	20
●準備する	24

使い方

●測定する	26
●クリーニングについて	32
●センサー寿命について	33
●メモリーを見る/消去する	34

必要なとき

●簡易点検について	38
●故障かな？	43
●仕様	裏表紙

本器について

準備する

使い方

必要なとき

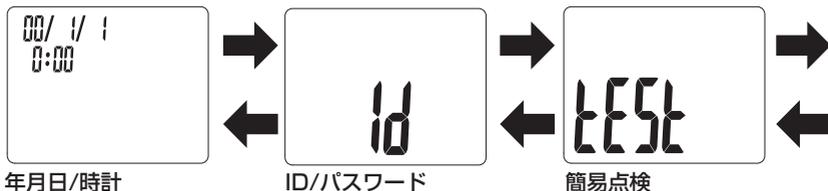
お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

ご使用の流れ

1. 電池を入れる (☞P.12)
ACアダプターを使用する (☞P.13)

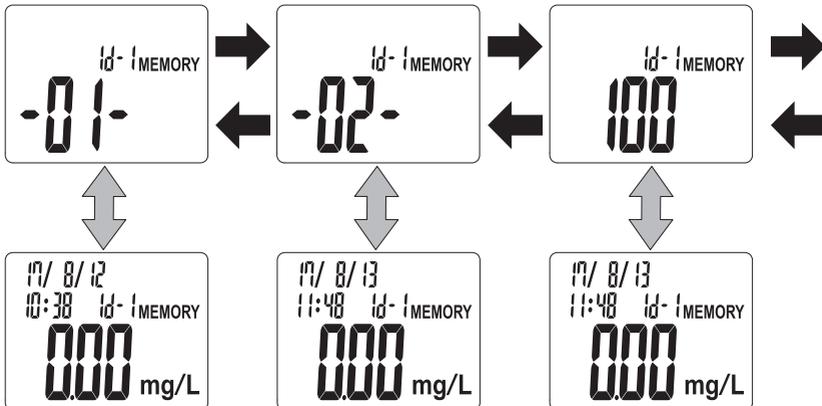
2. 設定する (☞P.14)



3. 測定する (☞P.26)
4. 測定結果を見る (☞P.29)



5. メモリーを見る (☞P.34)



6. 簡易点検 (☞P.38)



使用目的に関する注意

警告



禁止

●本器の測定データで運転の可否を判断しない

道路交通法第 65 条第 1 項には、「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない。」と遵守事項が定められています。本器の測定データは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料であって、運転の可否を判断するものではありません。測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行って良いか否かの判断に対して、本器の製造者、および販売に携わる関係者は一切責任を負いません。

定期点検の流れ



必ず守る

アルコール検知器はお客様ご自身で行う日常点検のほかに、定期点検が必要です。
定期点検を行わずご使用された場合、精度の保証はいたしかねます。
継続的にお使いいただく場合には、定期点検期限内に定期点検の実施をご依頼ください。

保証書をお手元に用意してください。

※保証書を紛失された場合は、タニタメンテナンス窓口へご連絡いただき、その旨お伝えください。

定期点検期限が近づいた場合



タニタメンテナンス窓口より
メールでご案内いたします。

必要事項を確認し、案内に沿ってお手続きをお願いします。



定期点検期限が切れる前に
測定回数の上限を超えた場合



タニタメンテナンス窓口
「定期点検の実施」をご依頼ください。

必要事項を確認し、お手続きについてご説明いたします。

電話：03-3558-8118
FAX：03-3558-0335

受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)



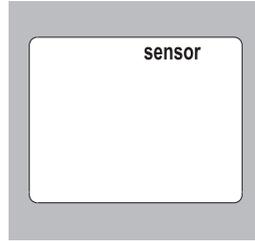
交換器のお届けと定期点検期限切れ機器のご返却

お届けした交換器をご使用ください。定期点検期限切れ機器は案内に沿って速やかにご返送ください。

※定期点検(定期メンテナンス)を期間内に実施しなかった機器は、各自治体の指導に従って廃棄するか、タニタ定期メンテナンス窓口までご返送ください。

定期点検実施のタイミング

定期点検日が近づきましたら、タニタメンテナンス窓口より定期点検の実施をご案内いたします。ただし、次のような場合は、タニタメンテナンス窓口にて定期点検の実施をご依頼ください。



1. 「sensor」が表示された場合

定期点検の予告

センサー使用回数が 8000 回を超えると「**sensor**」が点滅します。

定期点検される場合は、タニタメンテナンス窓口までご連絡ください。(本書 P.4 参照)

定期点検のお知らせ

センサー使用回数が 10000 回を超えると「**sensor**」が点灯します。

※測定結果がきちんと表示された場合に、センサー使用回数として自動カウントされます。

測定中断したり、「Er」が出た場合はカウントされません。

※センサー使用時間が 10200 回を超えると測定できません。「Er06」が点滅します。

2. 使用開始*から 1 年を経過した場合 ※「使用開始」とはタニタ出荷日の翌月初日です。

センサーの精度は、センサー使用回数に関わらず時間とともに低下します。

この場合は、「**sensor**」は表示されませんのでご注意ください。

※本器はセンサーの特性上、使用開始から 1 年経過、またはセンサー使用回数が 10000 回を超えると一定の精度を保持できなくなるおそれがあります。このような場合は精度の保証はできません。

安全上のご注意

ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を記載しています。ここに示す内容をよくお読みいただき、本器を正しくご使用ください。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷 ^{※1} を負うおそれのある」内容です。	
	注意	この表示の欄は「傷害 ^{※2} を負うおそれまたは物的損害 ^{※3} が発生するおそれのある」内容です。	
	禁止	してはいけない「禁止」内容です。	
			「必ず守っていただく」内容です。
お願い	本器を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。		お知らせ
			本器の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。

※1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財などへの拡大損害をさします。

取り扱いについて

警告



禁止

- ご使用前および使用中に本器やマウスピース / ストローホルダーに異常が確認されたら、直ちに使用を中止する。
 - ▶異常があるままご使用されると、けがをするおそれや正しく測定できないおそれがあります。ご使用いただく前に本器やマウスピース / ストローホルダーに亀裂などの異常がないか確認してください。
- 分解や改造は絶対にしない。
 - ▶センサーには酸性の材料が使われていますので、けがまたは目に入ると失明するおそれがあります。万が一付着した場合、直ちに付着部分を多量の水で15分以上洗い流し、医師の処置を受けてください。
- 本器を子どもの手の届く場所に置かない。
 - ▶付属のマウスピースなどを誤飲してけがをするおそれがあります。万が一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- 本器や電池を加熱しない。
 - ▶本器の変形や電池の発火によりけがや火災のおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

- 充電式の電池を使用しない。
 - ▶ 公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、電池が早く消耗します。必ず指定の電池（単3形アルカリ乾電池）を使用してください。
- 過度の衝撃や振動を与えない。
 - ▶ 故障するおそれがあります。
- 新しい電池と使用済み電池、種類の違う電池を同時に使用しない。
- 電池を入れるときは、極性（ \oplus 、 \ominus ）を間違えて入れない。
- 長時間使用しない場合は、電池を入れたままにしない。
 - ▶ 液漏れや発熱、破裂により、本器の故障、けがなどのおそれがあります。
 - ▶ 電池の中の液が皮膚や衣服についた場合はきれいな水で洗い流してください。万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師の診察を受けてください。
 - ▶ 液漏れなどで、床などを汚損するおそれがあります。

測定について

⚠ 警告



禁止

- 車両の運転や機械操作の最中に測定しない。
 - ▶ 注意散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
自動車などの運転中に本器を使用したことに起因する事故に対して、本器の製造者および販売に携わる関係者は一切の責任を負いません。
- 測定のときにマウスピース / ストローホルダー / ストローをくわえたまま、息を吸い込まない。
 - ▶ 誤って吸い込むと、故障したり、けがをするおそれがあります。



必ず守る

- 感染症などに注意する。
 - ▶ マウスピースやストローホルダーは衛生的に使用し、複数の人でストローを使い回さないでください。

使用上のご注意

保管について

⚠ 注意



禁止

- 次のようなところには絶対に保管しない。
 - ▶ 故障するおそれがあります。
 - ・ アルコールを含む除菌剤などに近いところ。
 - ・ 芳香剤、たばこ、スプレーなどのおいの強いところ。
 - ・ 直射日光の当たるところ。
 - ・ 暖房器具に近いところ。
 - ・ 温度や湿度の変化の大きいところ。
 - ・ 保管場所範囲外のところ。（車内などは温度が高くなり、寒冷地では温度が低くなりますので絶対に放置しないでください。）
 - ・ 湿度が高いところ、または水のかかるようなところ。
 - ・ 湿度の低いところ。
 - ・ ほこりが発生しやすいところ。
 - ・ トイレ内やトイレの近くなど、アンモニアの影響があるところ。
- 本器にマウスピースを取り付けた状態では保管しない。
 - ▶ においや水滴によりセンサーが故障するおそれがあります。



必ず守る

- 保管の際は、付属のチャック付きPE袋に入れて保管する。

お手入れについて

⚠ 注意



禁止

- 本器の水洗いは絶対にしない。
 - ▶ 故障するおそれがあります。
- 本器の清掃に、熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しない。
- マウスピース/ストローホルダーの洗浄に、熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しない。
 - ▶ 熱湯や薬品などを使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。本器の汚れは水で濡らせ固く絞った柔らかい布で拭いてください。マウスピース/ストローホルダーを洗浄するときは、水洗いしてください。

測定について

⚠ 注意



禁止

- アルコールを含む除菌剤などを使用した直後に本器を触らない。
 - ▶アルコール濃度の数値が表示されたり、故障したりするおそれがあります。
- 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定しない。
 - ▶本器は、呼気中のアルコール濃度を測定するため、お酒を飲んでいなくてもアルコール成分を含んだものやにおいの強いものを口にしたあとは、センサーが反応することがあります。
うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。
- 他の通信機能付きの機器、電磁波を発生する家電製品、および強力な電磁波のある環境では使用しない。
 - ▶本器が誤動作して電池寿命に影響を及ぼすおそれや、正確に測定できないおそれがあります。
電子レンジやワイヤレス通信機器、および電線、発電所、電波塔の近くなどから可能な限り遠くに離れて使用してください。
- マンガン乾電池を使用しない。
 - ▶正しい測定ができないおそれがあります。



必ず守る

- マウスピース/ストローホルダー/ストローに、においや汚れがある場合は新しいものに交換してください。
 - ▶正しく測定できないおそれがあります。においや汚れがあるマウスピース/ストローホルダー/ストローは使用しないでください。
- 本器を10℃以上の温度差がある場所に移動させた場合は、2時間以上放置してから使用する。
 - ▶正しい測定ができない場合があります。2時間以上放置してから使用してください。
- 唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意する。
 - ▶故障するおそれがあります。

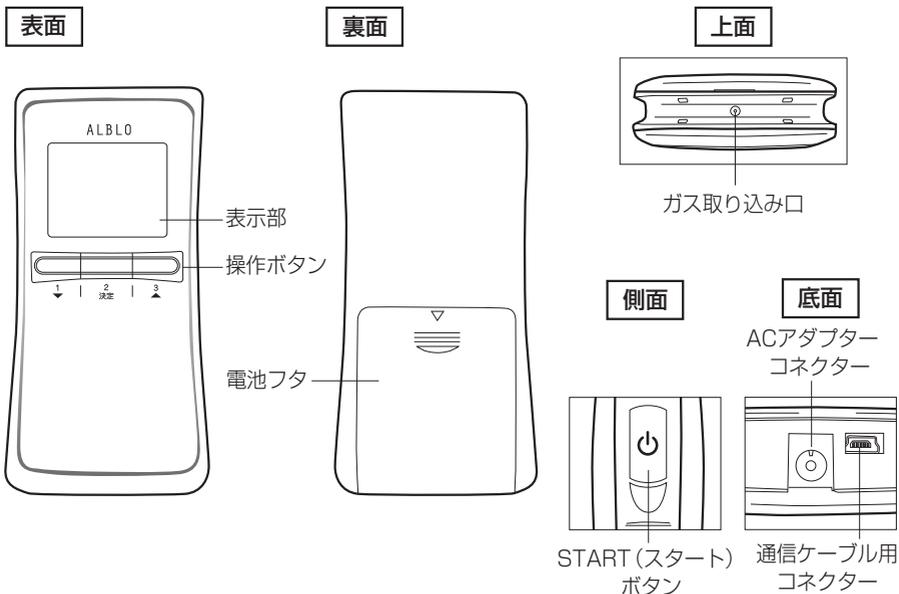
■本器の廃棄について

お住まいの市区町村の定めに従って、電池を抜いてから廃棄してください。廃棄について不明な点がある場合は、お住まいの市区町村に相談してください。小型家電リサイクル法に基づき、お住まいの市区町村または、認定事業者による回収にご協力ください。

■電池の廃棄について

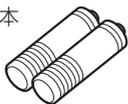
お住まいの市区町村の定めに従って、廃棄してください。廃棄について不明な点がある場合は、お住まいの市区町村に相談してください。

各部の名称/付属品



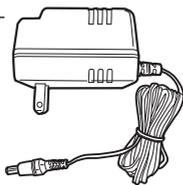
付属品

- 取扱説明書 (本書)
- お試用電池：単3形アルカリ乾電池 (LR6) × 2本

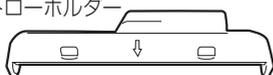


- ハードケース

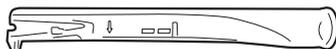
- ACアダプター



- ストローホルダー



- マウスピース × 3本



- センサーキャップ (本体装着済)



- 通信ケーブル



通信ケーブルを使用する場合はPC用管理ソフト「ALBLO for PC」を購入する必要がありますので、弊社お客様サービス相談室（裏表紙参照）までご連絡ください。

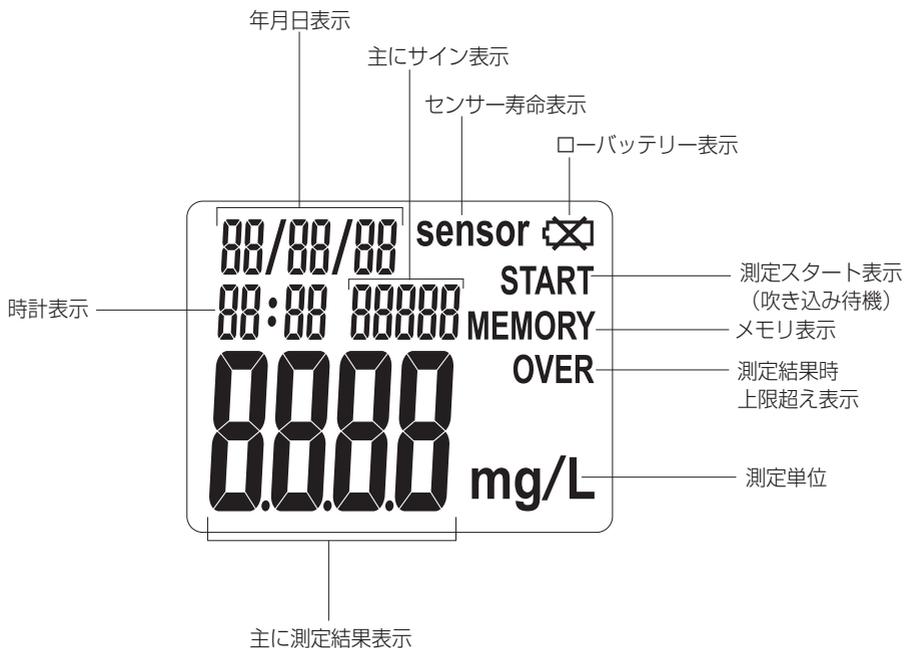
※不足しているものがございましたら、弊社お客様サービス相談室（裏表紙参照）までご連絡ください。

※ストローは付属しておりません。ストローで測定する場合は市販のストローを購入してください。

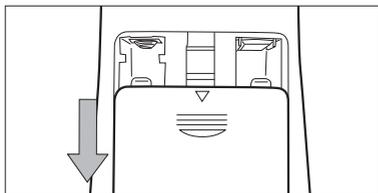
※簡易点検キットは付属しておりません。

簡易点検を実施する場合は、簡易点検キット（オプション品）を購入する必要がありますので、タニタオンラインショップ(URL <https://shop.tanita.co.jp/>)でお求めください。

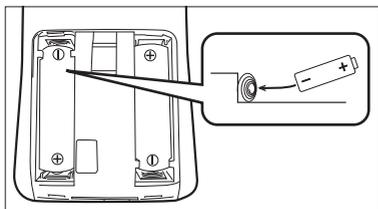
表示部



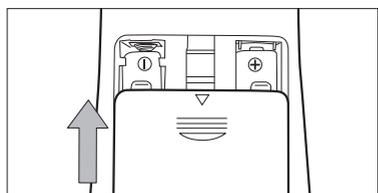
電池を入れる/交換する



1. 本体裏面の電池フタをスライドさせて外す。



2. 電池の \oplus \ominus の向きをよく確認してから入れる。



3. 電池フタを取り付けます。「カチッ」と音がするまで押し込む。

電池が消耗してくると「LO」が表示されます。速やかに新しい単3形アルカリ乾電池2本と交換してください。必ず2本同時に交換してください。

お願い



禁止

- 充電式の電池を使用しない。
▶ 公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、誤動作や故障の原因となります。必ず指定の電池（単3形アルカリ乾電池）を使用してください。
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池を同時に使用しない。
マンガン乾電池を使用しない。
▶ 液漏れや発熱、破裂のおそれがあり、本器の故障、けがなどの原因になります。



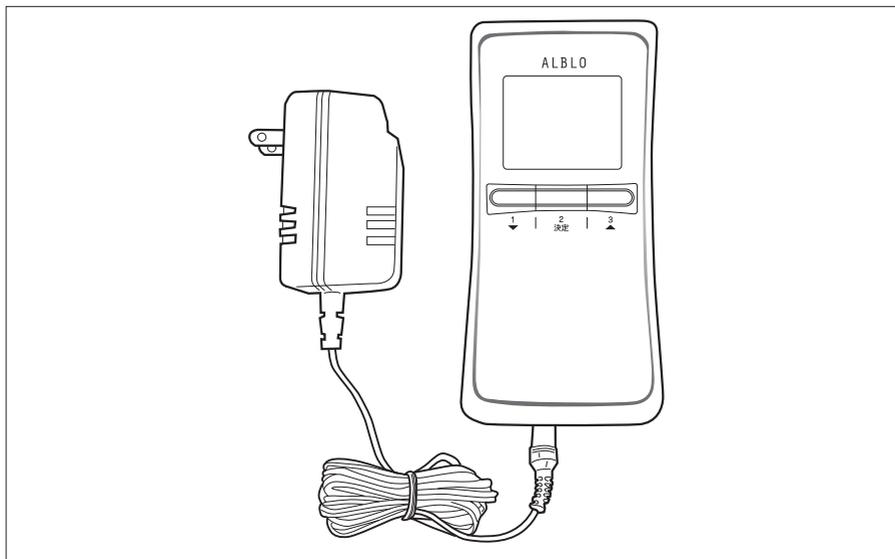
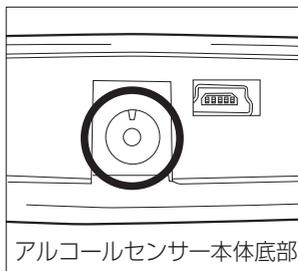
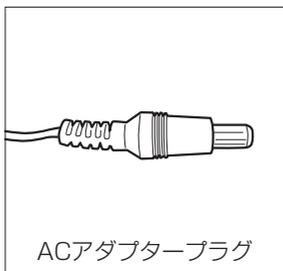
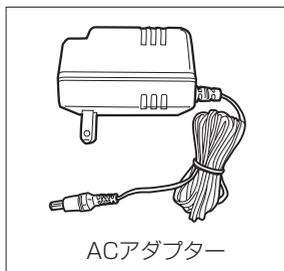
必ず守る

- 電池を入れるときは、極性（ \oplus \ominus ）の方向を間違わない。
▶ 液漏れなどで故障するおそれがあります。
（長時間で使用にならない場合は、電池を本器から取りはずしてください。）

お知らせ

- 付属の「お試し用電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。
- 使用済み電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処分してください。

ACアダプターを使用する



ACアダプタープラグを本体に差し込み、ACアダプターを100Vコンセントに差し込んでください。

⚠ 警告



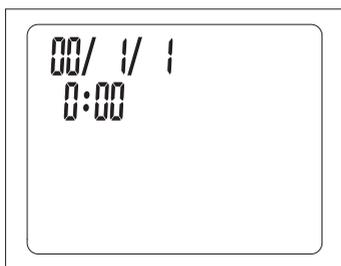
禁止

- ACアダプターをご使用の場合、濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
 - ▶ 感電の原因となるおそれがあります。
- 本器の性能、品質維持のため、必ず専用のACアダプターをご使用ください。
 - ▶ 100V以外では使用できません。

設定する

設定選択

「年月日/時計」設定、「ID/パスワード」設定、「簡易点検」の選択ができます。

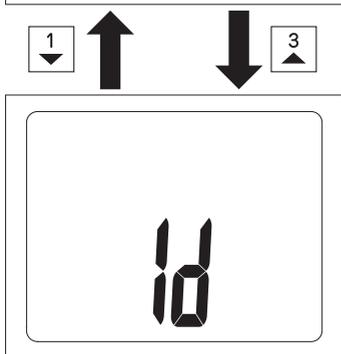


1.電源が入っていない状態で「」を3秒長押しすると年月日/時計が表示される。

 または  を押して「ID/パスワード」「簡易点検」「年月日/時計」の切り替えができます。

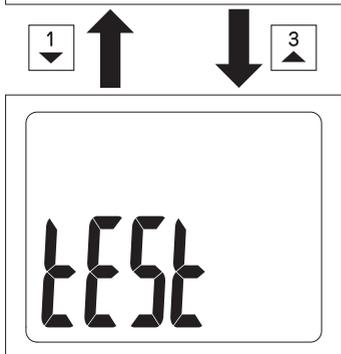
 を押して設定ができます。

1分間操作しない場合電源が切れます。



2.ID/パスワード

本書P.18を参照してください。

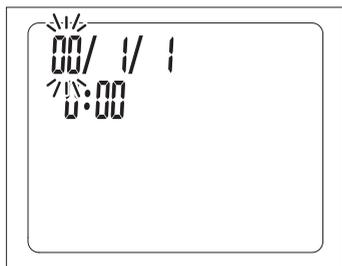


3.簡易点検

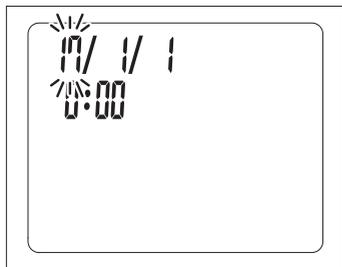
本書P.39を参照してください。

年月日の設定をする

例：2017年8月12日に設定する場合



1. 設定選択で年月日/時計を表示させて  を押す。



2.  または  を押して選択し、 を押して設定する。 または  を長押しすると早送りする。
(設定範囲2000年～2049年)

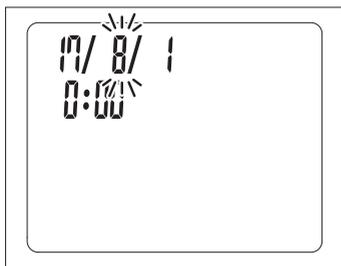
例：2017年に設定する場合。

「17」を選択する。

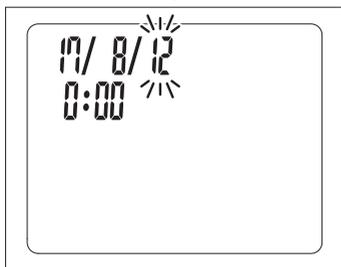
設定する (つづき)

年月日の設定をする (つづき)

西暦設定後、同様の操作で月、日、時計（時、分）の設定をしてください。



2
決定



月の設定

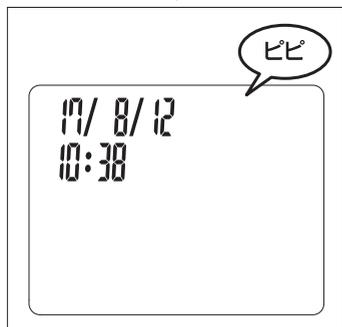
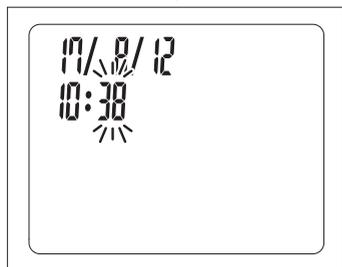
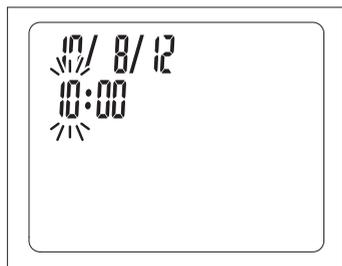
例：8月に設定する場合。
「8」を選択する。

日の設定

例：12日に設定する場合。
「12」を選択する。

時計の設定をする

例：午前10時38分に設定する場合（24時間表示）



時の設定

1 または **3** を長押しすると早送りする。

例：10時に設定する場合。
「**10**」を選択する。

分の設定

1 または **3** を長押しすると早送りする。

例：38分に設定する場合。
「**38**」を選択する。

2 を押すと「ピピ」と音がして電源が切れる。

1分間操作しない場合電源が切れます。
設定途中の場合は元の設定に戻ります。

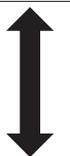
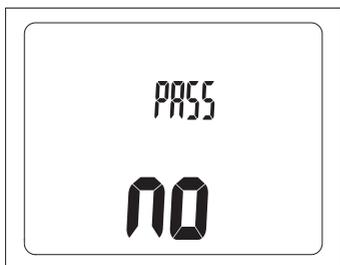
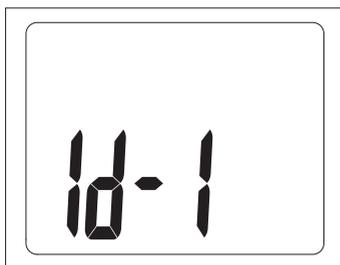
設定する (つづき)

ID/パスワードの設定をする

IDとパスワードの設定をします。

- IDを設定すると個人の測定結果をメモリーすることができます。
- IDにパスワードを設定することができます。
- 最大3人までの各個人登録が可能です。
- IDを設定すると「FULL ID-1」「FULL ID-2」「FULL ID-3」と表示されます。

例：「ID-1」を選択する場合



1. 設定選択でID/パスワードを表示させて を押す。
(本書P.14参照)

または で「ID-1」「ID-2」「ID-3」と切り替える。

2. を押すと、「PASS」が表示される。
その後、 または で「NO」と「YES」を切り替える。

パスワードを設定しない場合

「NO」を選択して を押すと、



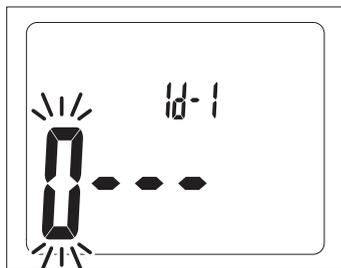
「ピピ」と音がして電源が切れます。

「ID-1」をパスワード設定なしで設定しました。

パスワードを設定する場合

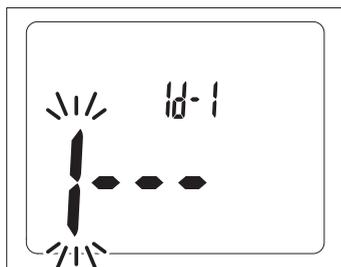
「YES」を選択して を押すと、パスワード設定に切り替わります。

例：パスワードを「1111」に設定する場合



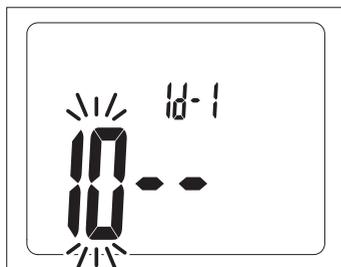
1. 数値を選択する。

0～9の数値で4桁のパスワード設定ができます。

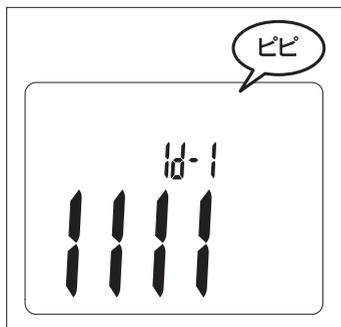


2.  または  を押して数値を選択する。

「1」を選択して  を押す。



3. 1桁目と同様の操作で2桁目、3桁目、4桁目を選択決定する。



4.  を押すと「ピピ」と音がして電源が切れる。

1分間操作しない場合電源が切れます。
設定途中の場合は元の設定に戻ります。

設定は完了です。

お知らせ

●設定したパスワードは忘れないように手帳などに記録してください。

▶「パスワードを変更する」「測定する」「メモリーを見る / 消去する」でパスワードが必要です。

設定の変更をする

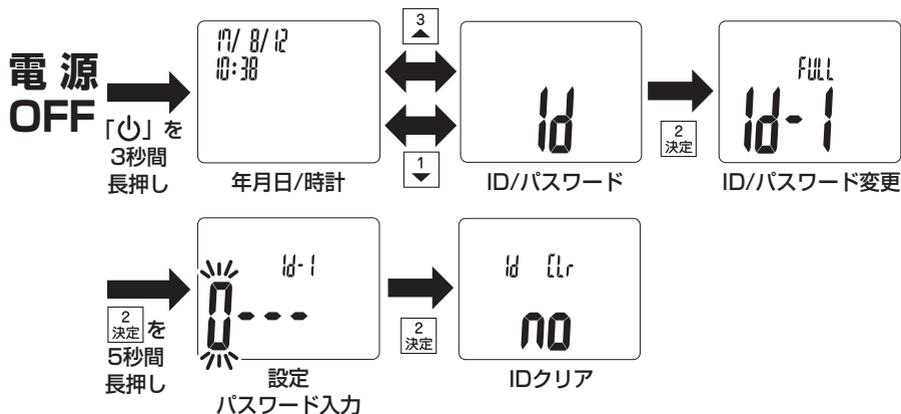
年月日/時計の設定を変更する



電源が入っていない状態で「**⏻**」を3秒間長押しすると設定選択の年月日/時計が表示されます。（本書P.14参照）

2 決定 を押して年月日/時計の設定を変更します。（本書P.15参照）

IDをクリアする

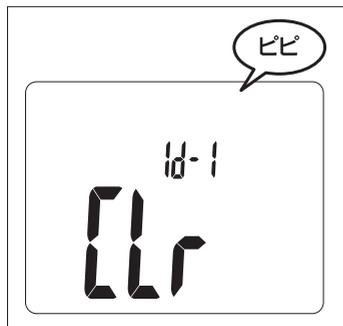
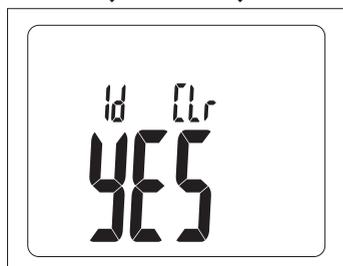
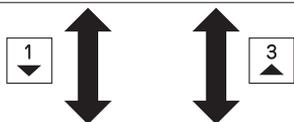
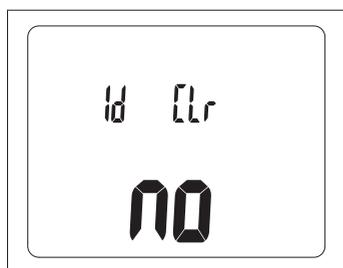


電源が入っていない状態で「**⏻**」を3秒間長押しすると設定選択の年月日/時計が表示されます。（本書P.14参照）

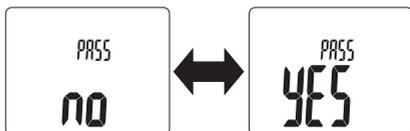
1 決定 または **3** 決定 を押して、ID/パスワードを表示させて **2** 決定 を押してください。

ID/パスワード変更が表示されたら **2** 決定 を5秒間長押しすると設定パスワード入力が表示されます。設定したパスワードを入力して **2** 決定 を押してください。

例：「Full id-1」のIDをクリアする場合



ここで「NO」を選択して²決定を押すと、「PASS」が表示されてパスワード設定変更に切り替わる。
パスワード変更は P.22「パスワードの設定を変更する」参照。



1.IDをクリアする場合

「YES」を選択して²決定を押す。

2. 「ピピ」と音がして電源が切れる。

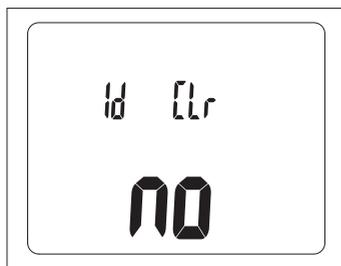
「id-1」のIDはクリアされました。

設定の変更をする (つづき)

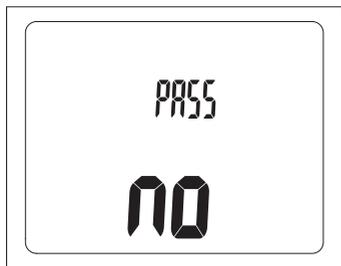
パスワードの設定を変更する

「IDをクリアする」本書P.20と同じ操作をして「ID [Clr]」を表示させてください。

例：「Full ID-1」のパスワード設定を変更する場合



1. 「NO」を選択して を押し、「PASS」が表示される。
その後、 または で「NO」と「YES」を切り替える。



2. パスワードを設定しない場合

「NO」を選択して を押しと、



「ピピ」と音がして電源が切れる。

「ID-1」をパスワード設定なしに変更しました。

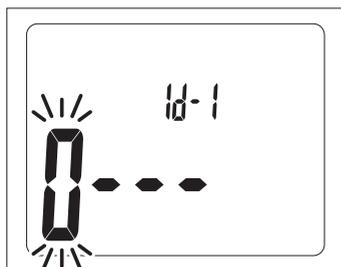


3. パスワードを変更する場合

「YES」を選択して を押しと、パスワード変更になり替わる。

4. 数値を選択する。

(本書P.19参照)



5. を押しと「ピピ」と音がして電源が切れる。

1分間操作しない場合電源が切れます。
設定途中の場合は元の設定に戻ります。

お知らせ

- 設定したパスワードを間違えて入力した場合「ErrP」が点滅表示して「ピピ」と音がしてパスワード入力に戻ります。
▶再度、設定したパスワードを入力してください。



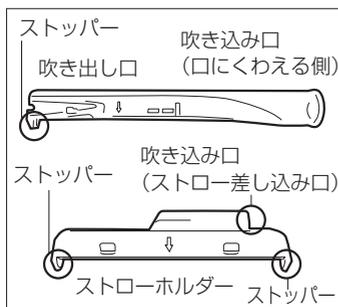
準備する

マウスピース、ストローどちらで測定するか決めてください。

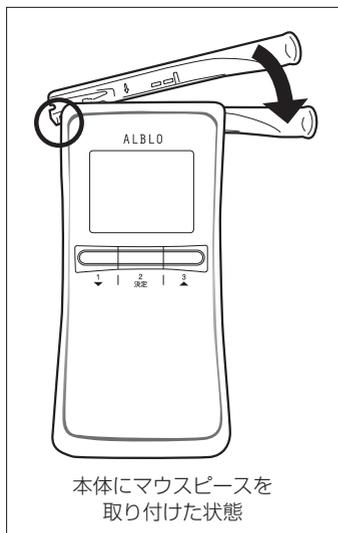
マウスピース、ストローホルダーは取り付け方向を定めていませんので、左右どちらでも取り付け可能です。

ストローで測定する場合

- ・ストローでの測定結果は精度保証できないため参考値となります。
- ・付属のストローホルダーをご使用ください。
- ・ストローの太さは外径6mm、長さ50～60mmで使用してください。
- ・ストローは付属しておりません。市販品のストローを購入してください。



マウスピース、ストローホルダーの端面にストッパーがついている。

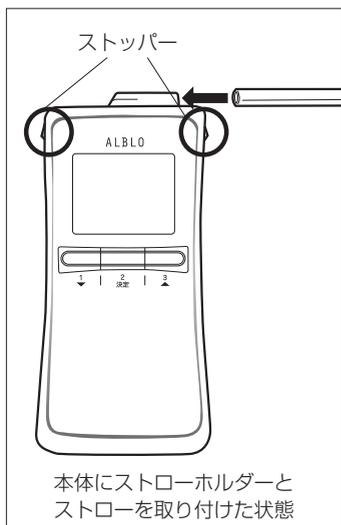


マウスピースを使う場合

本体にマウスピースを取り付ける。

ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取り付けられます。

本体にマウスピースを
取り付けた状態



ストローを使う場合

本体にストローホルダーとストローを取り付ける。

ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取り付けられます。

ストローはストローホルダーの差し込み口に挿入してください。

お知らせ

- マウスピースやストローホルダーを本体に取り付けるときは、左右にスライドさせて取り付けないでください。
 - ▶ガス取り込み口が破損するおそれがあります。
- 本体にマウスピースやストローホルダーを取り付けた状態で保管しないでください。
 - ▶測定が終わりましたら本体から外してください。
 - ▶においや水滴によりセンサーが故障するおそれがあります。
- ストローホルダーを使用して連続測定をすると水滴がセンサー内部に入る可能性がありますので連続測定はお控えください。
 - ▶故障のおそれがあります。

測定する

測定する

お知らせ

●ID を設定してください。

▶ 「Er07」が点滅し、「ピピピ…」と音がして電源が切れます。



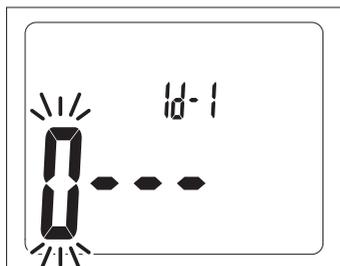
例：「id-1」を選択して測定する場合



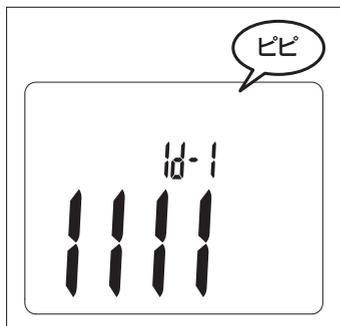
1. を0.5秒押すと電源が入り使用回数が表示される。

※初回は「00000」が表示されます。

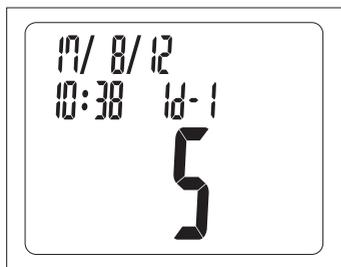
パスワードを設定していない場合は、自動的にカウントダウンを開始します。(P.27 3.に進む)



2. 設定したパスワードを入力する。
(本書P.19参照)

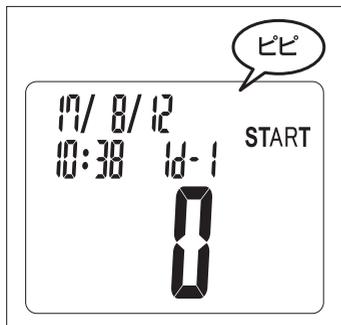


を押すと「ピピ」と音がする。



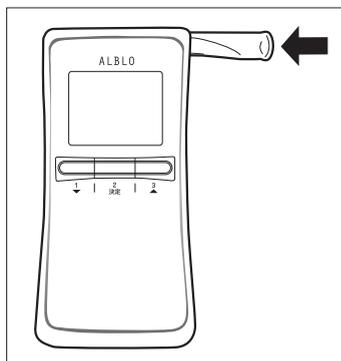
3.自動的にカウントダウンを開始する。

「5→4→3→2→1→0」



4.カウントダウンが終了後、「START」と「0」

が表示される。



5.マウスピースを口にくわえて、5秒間息を吹き込む。

警告



禁止

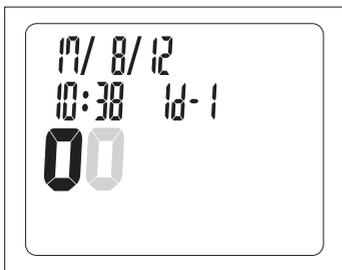
- 測定のときにマウスピース/ストローをくわえたまま、息を吸い込まない。
▶誤って吸い込むと、故障したり、けがをするおそれがあります。
- 唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意する。
▶故障するおそれがあります。

お知らせ

- 「START」が表示されてから10秒以内に息を吹き込んでください。
▶10秒以上たってから息を吹き込むと「Er0」が点滅し、「ピピピ…」と音がして電源が切れます。



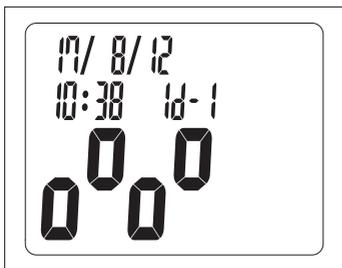
測定する (つづき)



吹き込み検知すると、「吹き込み中」「吹き込み不足」「吹き込み中断」を判定します。
「ピー」と音がしている間、息を吹き込み続けてください。
「カチッ」と音がしたら吹き込みをやめマウスピースから口を離してください。

お知らせ

- 吹き込みが不足していたり、吹き込みを中断すると判定できません。
 - ▶「Er02」が点滅し、「ピピピ…」と音が出て電源が切れます。
- マウスピースの吹き出し口側を指でふさがらないでください。
 - ▶正しく測定できないおそれがあります。



6. アルコール濃度を解析する。

お知らせ

- 連続測定したときや測定濃度により、解析時間が長くなる場合があります。

測定結果を見る



7.測定結果が表示される。

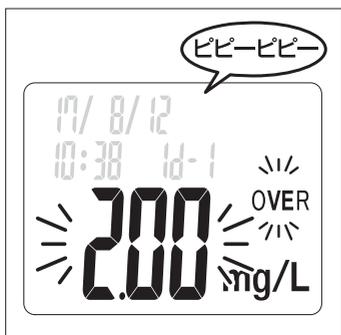
アルコールが検知されなかった場合

「ピピ」の音とともに「**000**」が表示されます。



アルコールが検知された場合

「ピピーピピー」の音とともにアルコール濃度が表示されます。



アルコール濃度が上限値を超えた場合

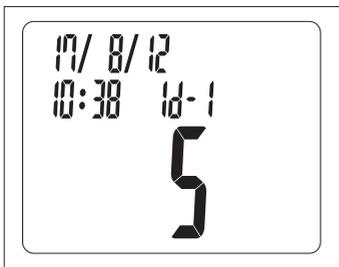
「ピピーピピー」の音とともに「OVER」と「**200**」が点滅します。

お知らせ

- 測定結果は10秒間表示されます。測定結果表示中にいずれかのボタンを押すとセンサークリーニング・カウントダウンに移行します。(本書P.30)

測定する (つづき)

センサークリーニング



8. センサークリーニング・カウントダウンを開始する。

「5→4→3→2→1→0」

センサークリーニング・カウントダウンが終了すると
2秒後に電源が切れます。

お知らせ

●以下の条件によってセンサークリーニング・カウントダウンの時間が異なります。

▶測定結果0.00mg/L～0.25mg/L：5秒間

測定結果0.25mg/L以上：25秒間～175秒間

FREE測定

FREE測定はID/パスワードの設定なしで測定します。

FREE測定の場合測定結果はメモリーされません。



1. 「」を0.5秒押すと電源が入り、使用回数が表示される。

※初回は「00000」が表示されます。



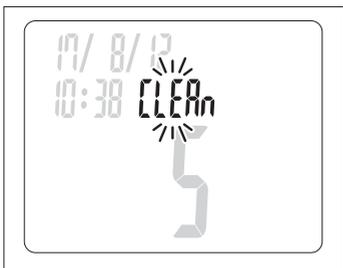
2. 「FREE」と表示されて自動的にカウントダウンを開始する。

「5 → 4 → 3 → 2 → 1 → 0」

本書P.27 4.へ移行します。

クリーニングについて

以下の場合には本体、マウスピース、ストロー、ストローホルダーにガスが残ることがあります。測定結果表示後「CLEAN」が点滅したらマウスピースやストローホルダーを外して4～5回振ってガスを取り除いてください。



- 連続 20 回以上測定した場合。
- 高濃度測定を行った場合。

お知らせ

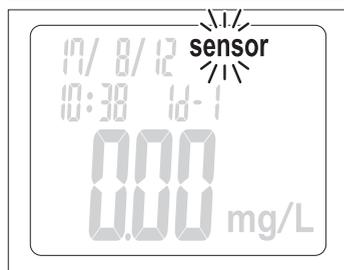
- 本体やマウスピース、ストロー、ストローホルダーにガスが残っていると正確な測定ができません。
 - ▶ マウスピース、ストローホルダーを外して本体を4～5回振ってガスを取り除いてください。
- 本体やマウスピース、ストロー、ストローホルダーに水滴が付着している場合は水滴をふきとってください。

センサー寿命について

センサー寿命は使用開始から1年経過した場合、またはセンサー使用回数が10000回を超えた場合のどちらか早い方です。

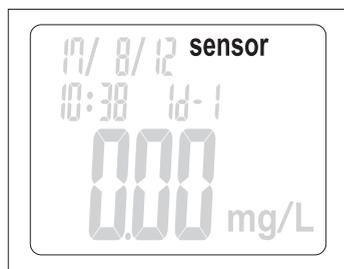
測定結果が表示されるとセンサー使用回数は1回カウントされます。測定中断したり「Er」が表示された場合はカウントされません。

センサー寿命の予告



センサー使用回数が8000回を超えると「sensor」が点滅。

センサー寿命のお知らせ



センサー使用回数が10000回を超えると「sensor」が点灯。

お知らせ

- センサー使用回数が10200回を超えると電源が入った直後に「Er06」が5秒間点滅して電源が切れます。
 - ▶定期点検の実施をご依頼ください。（本書P.4参照）

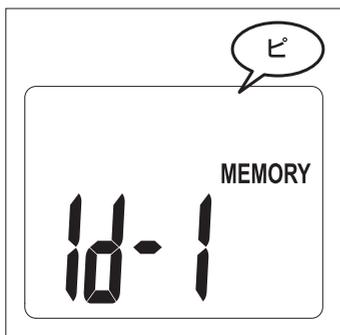
メモリーを見る/消去する

メモリーを見る

保存された測定結果（メモリー）の確認ができます。

- 測定結果が表示されると自動的にメモリーとして保存します。
- メモリー件数は最大300件（ $\{d-1\}/100$ 件 $\{d-2\}/100$ 件 $\{d-3\}/100$ 件）です。
101回以上測定すると古いデータから消去されます。
- 「 $\{d-1\}$ 」が一番新しい測定結果です。
- メモリーが保存されていないときは「...」が表示されます。

例：「 $\{d-1\}$ 」でパスワード設定したメモリーを見る場合

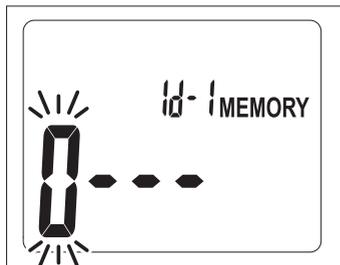


1. 電源が入っていない状態で \downarrow を3秒長押しすると「MEMORY」が表示される。

\square 決定 を押すとパスワード選択に移行する。

「 $\{d-2\}$ 」「 $\{d-3\}$ 」のメモリーを見る場合「 $\{d-2\}$ 」は \square 決定、「 $\{d-3\}$ 」は \square を3秒間長押しをしてください。

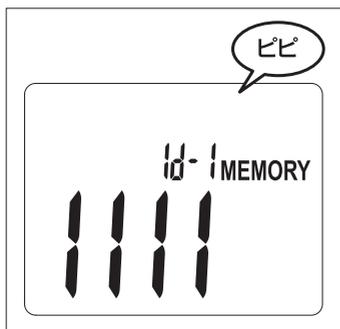
※パスワード設定されていない場合はメモリー表示に移行します。



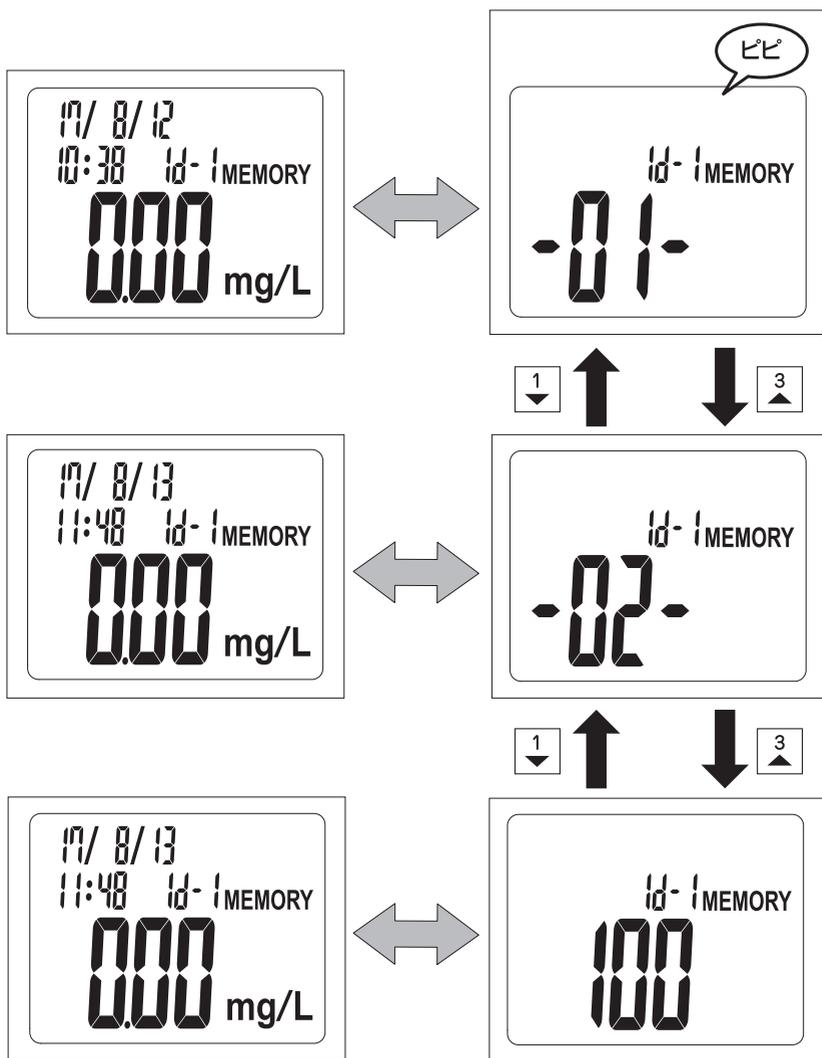
2. 設定したパスワードを入力する。

(本書P.19参照)

\square 決定 を押すと「ピピ」と音がします。



3.「Id-1 MEMORY」が表示される。その後、 または  で保存されているメモリーを確認することができる。



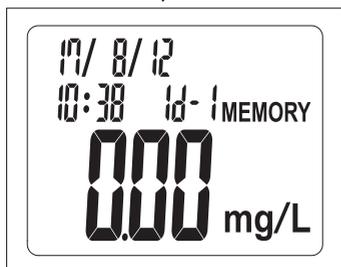
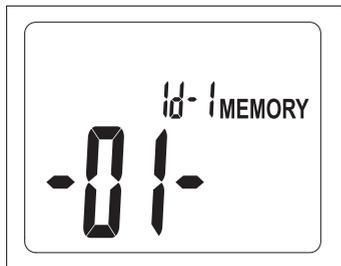
4.「」を押すと電源が切れる。
また、1 分間操作しない場合電源が切れる。

メモリーを見る/消去する (つづき)

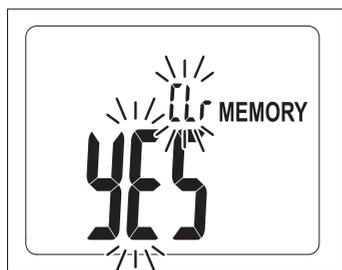
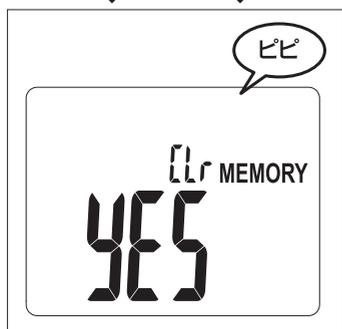
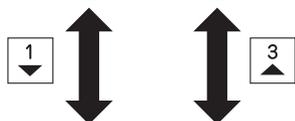
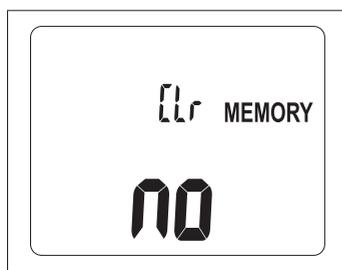
保存されたメモリーを消去する

選択したIDだけに保存されたメモリーをすべて消去することができます。

例：「id-1」メモリーを消去する場合。



1. 本書P.34 1.~2. と同じ操作をして「id-1」に保存されているメモリーを表示させる。



2. と を同時に3秒長押しすると「MEMORY」が表示される。その後、 または で「NO」と「YES」を切り替える。

メモリーを消さない場合

「NO」を選択して を押すとメモリー表示に戻る。
メモリーは消去されません。

メモリーを消去する場合

「YES」を選択して を押すと「ピピ」と音がしてメモリーが消去されます。

電源が切れたらメモリー消去完了です。

簡易点検について

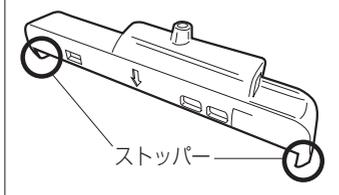
酒気を帯びて測定したにもかかわらず測定結果でアルコールが検出されない場合に簡易点検を実施します。簡易点検キット（オプション）を購入してご使用ください。

お知らせ

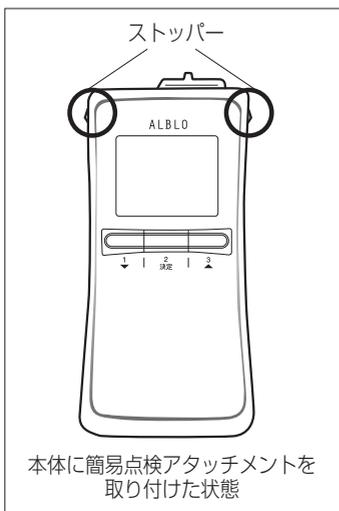
- 簡易点検は1週間に1回程度であれば、簡易点検ガスは1年間は十分に使用できます。

準備する

簡易点検アタッチメント



簡易点検アタッチメントには、端面にストッパーがついている。

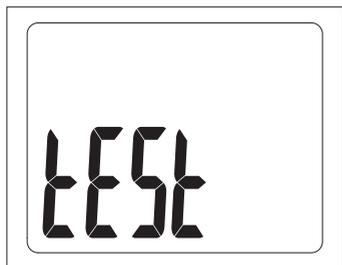


1. 簡易点検アタッチメントを本体に取り付ける。
ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取り付けられます。

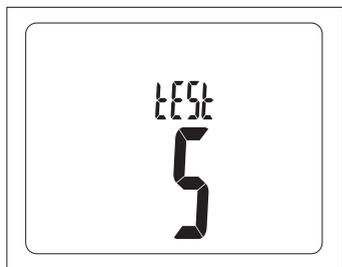
点検する

お知らせ

- 測定して結果が表示されたあとすぐに簡易点検を行うときは、本体にガスが残っている場合があります。
 - ▶本体を4~5回振ってガスを取り除いてください。
- 点検のときに簡易点検ガス容器の側面は押さないでください。
 - ▶高濃度ガスがセンサーにかかりセンサー寿命に大きく影響を及ぼします。

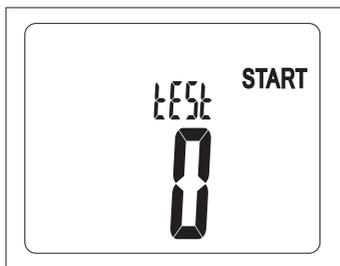


1. 設定選択で簡易点検「TEST」を表示させる。
(本書P.14参照)



2. ²決定を押すとカウントダウンを開始する。
「5→4→3→2→1→0」

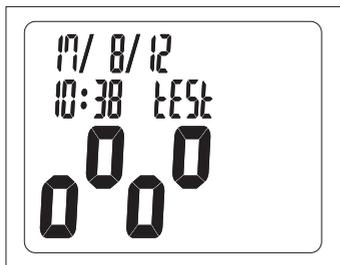
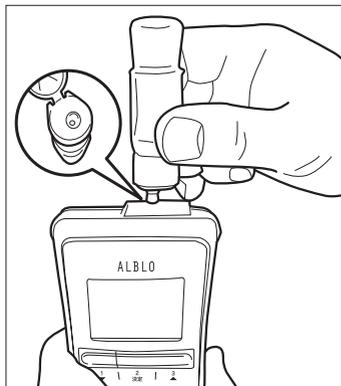
簡易点検について (つづき)



3. 「START」が表示されたら簡易点検ガス容器のキャップを開けて3秒簡易点検アタッチメントにセットする。

※3秒たったら必ず簡易点検ガス容器を外してください。

3秒以上セットすると高濃度ガス測定になり、センサークリーニング・カウントダウンが長くなります。



4. 簡易点検アタッチメントから簡易点検ガス容器を外し「 ON 」を押す。

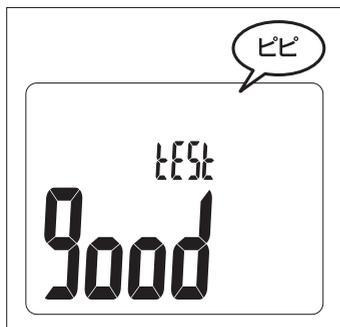
簡易点検ガスを吸い込み解析を開始する。

お知らせ

- 「START」が表示されてから10秒以内に「 ON 」を押してください。
 - ▶ 10秒以上たつと「Er01」が点滅し、「ピピピ…」と音がして電源が切れます。



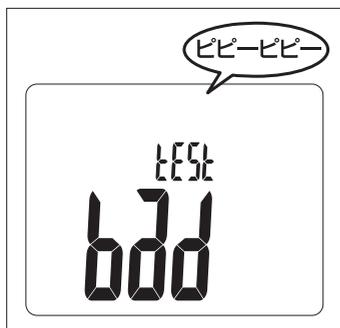
判定結果を表示する



5.判定結果が表示される。

センサーに異常がない場合

「ピピ」と音がして「Good」と判定結果が表示されます。



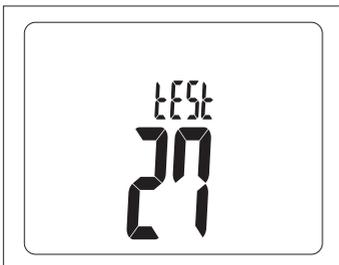
センサーに異常があった場合

「ピピーピピー」と音がして「b00」が表示されます。

再度、簡易点検するかタニタサービスセンターにご連絡してください。

簡易点検について (つづき)

センサークリーニング



6. センサークリーニング・カウントダウンを開始する。

センサークリーニングが終了すると電源が切れます。

※センサークリーニング中は測定できません。

お知らせ

- 簡易点検を行うとセンサー使用回数が1回カウントされます。
- 判定結果は10秒間表示されます。判定結果表示中にいずれかのボタンを押すと「センサークリーニング」に移行します。
- 以下の条件によってセンサークリーニング・カウントダウンの時間が異なります。
 - ▶測定結果0.00mg/L～0.25mg/L：5秒間
 - 測定結果0.25mg/L以上：25秒間～175秒間
- 再度、簡易点検する場合は簡易点検ガス容器を手のひらで軽く温めてください。
再度、簡易点検しても「bbl」が表示された場合はタニタサービスセンターにご連絡ください。

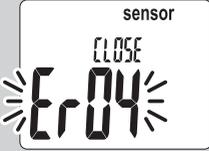
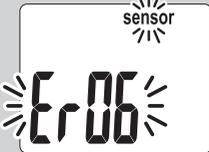
故障かな？

現象	ご確認ください
測定結果が高めに出る	<ul style="list-style-type: none">●口の中にアルコール成分が残っていませんか？ ▶うがいをし再度測定してください。●食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか？ ▶うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。●本体に強いにおいがみついていませんか？ ▶本体を4～5回振ってにおいを取り除いてください。●においがある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。●マウスピース、ストローホルダー、ストローににおいがみついていませんか？ ▶マウスピース、ストローホルダー、ストローを水洗いし、よく乾かしてから再度測定してください。または新品と交換してください。
測定結果が低めに出る	<ul style="list-style-type: none">●5秒間、きちんと息を吹き込みましたか？ ▶息を吹き込む時は、5秒間しっかりと吹き込んでください。●マウスピースが所定の場所にセットされていますか？ ▶マウスピースをもう一度所定の場所にセットしてから測定してください。●風のある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。
測定結果が一致しない	<ul style="list-style-type: none">●風のある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。●においがある場所で測定していませんか？ ▶場所を変えて測定してください。●口の中にアルコール成分が残っていませんか？ ▶うがいをし再度測定してください。●食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか？ ▶うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。

必要なとき

故障かな？ (つづき)

現象	ご確認ください
<p>飲酒していないのにアルコール濃度の数値が表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。 ● においがある場所で測定していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 場所を変えて測定してください。 ● 本体やマウスピース、ストローホルダー、ストローの内部にお酒のにおいが溜まっていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ マウスピース、ストローホルダー、ストローを4～5回振ってにおいを取り除いてください。 ▶ マウスピース、ストローホルダー、ストローをきれいに水洗いし、よく乾かしてから測定してください。
<p>⏻を押しても何も表示されない。または表示が全点灯してすぐに消える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 新しい電池と交換してください。 ● 電池が逆に入っていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電池を正しく取り付けてください。 ● 電池の電極にゴミがついていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電極のゴミを取り除いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「START」が表示されたら10秒以内に息を吹き込みましたか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「START」が表示されてから10秒以内に息を吹き込んでください。 <p>※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 吹き込みが不足していたり、吹き込みを中断していませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 5秒間息を吹き込んでください。 <p>※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</p>

現象	ご確認ください
 <p>sensor CLOSE Er04</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●システムエラーです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶電池を入れ直してください。 ACアダプターご使用のときは本体側のジャックを入れ直してください。 ▶故障のおそれがありますので、タニタサービスセンターにお問い合わせください。 <p>※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</p>
 <p>sensor Er06</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●センサー使用回数が、10200回を超えていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶タニタサービスセンターに、お問い合わせください。 <p>※「Er06」が5秒間点滅して電源が切れます。 ※「定期点検の流れ」を参照してください。（本書P.4参照） ※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</p>
 <p>Er07</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●IDを設定されましたか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶IDを設定してください。（本書P.18 参照） <p>※いずれかのボタンを押すとブザー音が止まります。</p>

故障かな？ (つづき)

現象	ご確認ください
  	<p>●システムエラーです。</p> <p>▶電池を入れ直してください。 ACアダプターご使用のときは本体側のジャックを入れ直してください。 故障のおそれがありますので、タニタサービスセンターにお問い合わせください。</p>
	<p>●設定したパスワードを間違えて入力していませんか？</p> <p>▶再度、設定したパスワードを入力してください。</p>

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

必要なとき

仕様

検知方法	燃料電池センサー
センサー寿命	使用開始から1年経過、または10000回になるまで (どちらか早い方)
呼気中アルコール濃度測定範囲	0.00~2.00mg/L 0.01mg/L単位 (0.05mg/L未満は0.00mg/L表示)
電源	3V DC 単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本 ACアダプター(6V DC 500mA)
個人番号登録	ID-1 ID-2 ID-3
メモリー	300件(ID-1×100件 ID-2×100件 ID-3×100件)
使用温湿度範囲	5~35℃、30~80%(結露なきこと)
保管温湿度範囲	0~40℃、10~90%(結露なきこと)
寸法	約幅72×高さ145×奥行33mm
質量	約212g(乾電池含む)
主な材質	ABS、PP(マウスピース)
生産国	中国
付属品	取扱説明書、保証書、お試用電池(単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本)、 ハードケース、ACアダプター、ストローホルダー、マウスピース×3本、 センサーキャップ、通信ケーブル

※デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

※ストローは付属しておりません。ストローで測定する場合は市販のストローを購入してください。

※簡易点検キットは付属しておりません。

簡易点検を実施する場合は、簡易点検キット(オプション品)を購入する必要がありますので、
タニタオンラインショップ(URL <https://shop.tanita.co.jp/>)でお求めください。

株式会社 **タニタ**

本社・タニタメンテナンス窓口 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

ホームページアドレス <https://www.tanita.co.jp/>

定期点検

タニタメンテナンス窓口

受付時間 /9:00~17:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)

03-3558-8118

フリー
ダイヤル



0120-133821

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

お問い合わせ
先

ナビ
ダイヤル



0570-783551

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 /9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)

©2015-2026 TANITA Corporation

FC10007601(6)-2603MA